

2021年度自己評価結果公表シート

大阪樟蔭女子大学附属幼稚園

1. 本園の教育目標

「未来を生きるための根っこを育てる保育」つまり、のびやかな個性の育成と「知・情・意」を基本に、生き生きとした生活の中から真の知性を高め、豊かな情操、思いやりの心、創造性や自主性を育て、健全な人間関係の基礎を培う。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

子どもが主体となる生き生きとした保育を支える教師力・保育力の向上や環境構成を目指す。

- ・幼児期に大切な教育と教員間での保育観の共通理解、保護者理解の研修を行う。
- ・子どもが安全に、そして安心して遊ぶことができるよう、危機管理に努める。
- ・長期休暇中の預かり保育に向けて試行と検討を行う。
- ・キンダーカウンセリング事業を実施する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・教師の子ども理解・資質向上を目指し、園内研修の充実に取り組み、各種研修会へも積極的に参加し、自己研鑽と共通理解に努めていく。	カリキュラムを見直し、子どもの興味に即したねらいを設けた。ねらい達成にむけて、また、よりよい保育に向けて全教員で自身の保育の振り返り、意見交換等の研修を行った。外部研修や教育方針の再確認と共通理解も行い、教師力・保育力の向上ができた。
・保護者とのコミュニケーション作りを努め、子どもの育ちや幼稚園の教育方針への理解・連携を構築していく。	広告やホームページ、SNS媒体を利用して、保護者はもちろん、園に興味をもっている方へ日々の保育の様子や出来事を写真等で、目で見ても分かりやすいよう開示した。 登降園時には、コロナ禍でも子どもの成長の様子を伝えられるよう掲示板を通して保育の見える化を工夫し、保護者とのコミュニケーション作りを積極的に行った。 園に関するアンケートの内容を再検討し、実施した。結果をふまえ、保護者の思いや要望を取り入れて保育内容を見直した。
・大学との連携。	大阪樟蔭女子大学健康栄養学部との連携によるオリジナル給食メニューの立案を実施する。また、月1回の誕生会でのおやつ提供を検討し、試行した。
・危機管理の充実。	子どもが安全に、そして安心して過ごせるように園内の危険箇所での点検・修理を継続して行った。また、保育中に避難訓練を実施

	し、教員も危機管理意識の再確認をしたり計画の見直しをしたりした。 コロナ禍において、日々の換気や消毒、清掃などの環境整備も引き続き徹底した。
--	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、行事を中止せず行えるよう工夫し、子どもの経験や学びを確保できるよう引き続き努めることができた。また、研修を通して職員間で子どもの育ちについて共通理解を行えた。 ・長期休暇中の預かり保育を試行し、実施の道筋ができた。 ・キンダーカウンセリング事業を実施したことにより、地域を含む子育て支援ができた。 ・コロナ禍により、保護者とのコミュニケーションが不足しがちではあったが、様々な場面でアンケートを実施し、保護者の声を聞くように努めた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼稚園の魅力の周知方法	体験保育や園庭開放等、ホームページ、SNS、地域の新聞を使用し、より多くの人に幼稚園に足を運んでもらえるようにする。 保護者の満足度を可視化する。
子育て支援の強化	園庭開放や未就園児クラスを通じて幼稚園や学园内施設を紹介し、親しみをもてるようにする。 キンダーカウンセリングの周知方法を再検討する。
危機管理の対応	施設の老朽化にともなう園内外の環境の改善に努める。 熱中症対策の検討をする。

6. 学校関係者よりの意見（令和4年3月23日実施）

<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理を徹底し、安全で安心して通える幼稚園であってほしい。 ・清潔な衛生環境を保ってほしい。 ・総合学園の魅力を発揮する。 ・弁当の魅力を伝える。
--

7. 財務状況

学校法人樟蔭学園として、監事及び公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。
--